

## 第 32 回バイオマスタウン構想の公表

### 【新規公表：9 構想の概要】

#### 群馬県富岡市（とみおかし）

廃棄物系バイオマスである、家畜排せつ物、事業系・家庭系生ごみの堆肥化を図り、有機肥料として活用することによる土づくりを促進し、農業における自然循環機能の維持増進と農業の活性化を目指すと共に、廃食油や未利用バイオマスを始め資源作物の活用によるバイオ燃料化事業を推進し、富岡市の地域特性を活かした循環型社会の構築を図る。

#### 埼玉県秩父市（ちちぶし）

森を守り、水を守り、そして農地を守り、生活を支える。これにより、秩父市の豊かな自然環境を活かし、将来を担う子どもたちが秩父を誇りに思うような、流域の人たちから頼られるような循環型社会の構築を進め、バイオマスタウン構想の実現を目指す。木質・草本系バイオマスを中心に、家畜排せつ物、生ごみ・食品加工残渣、廃食用油等の活用を推進していく。

#### 千葉県市原市（いちはらし）

市原市には、多種多様なバイオマスが豊富に賦存することから、上位計画や本市の特性を捉え、4つのバイオマス利活用ゾーン（ハイテク・アグリ・ウッド・フラワー）を設定し、あらゆる変換技術を駆使してバイオマスの利活用の展開を図る。

#### 新潟県十日町市（とおかまちし）

エノキ廃菌床等を主原料とした堆肥化事業と燃料化事業、食品廃棄物やし尿等を下水汚泥と混合するメタン発酵事業、建設廃材や間伐材等による木質固形燃料化事業、動植物系廃食用油及び食品廃棄物による燃料化事業を推進し、バイオマスの利活用とバイオマスエネルギーの地域への普及を図る。

#### 富山県射水市（いみずし）

製材業からの木質系廃棄物の炭化や草本類の堆肥化及びその高度利用や複合利用に取り組み、廃食油の燃料化、畜産加工汚泥の堆肥化、もみ殻の有効利用の研究、産学官民連携による教育・食育のサポートや教育ファームの形成を推

進する。

#### 静岡県浜松市（はまつし）

多種多様なバイオマスに恵まれている本市の特徴を活かし、地域の連携を図りながら、間伐材等による木質ペレットの活用や、家畜ふん尿による堆肥を利用した「資源循環型農業システム」の構築・拡大、生ごみの堆肥化・飼料化、廃食用油の再利用等を推進する。これにより農業や林業の経営の安定化や、技術開発や製品開発における新産業の創出等を目指す。

#### 熊本県多良木町（たらぎまち）

安全・安心な農作物を生産する農地及び豊かな森林、そこから球磨川に注ぐ良好な水質に恵まれた水資源を生かし、循環型社会の構築や地域の活性化へ繋げることを基本方針とし、林産資源をペレット・チップ化、家畜排せつ物をガス化して電熱利用、菜の花やひまわりなどの資源作物を軽油代替燃料として利活用する「バイオマスタウン多良木」の形成を目指す。

#### 大分県佐伯市（さいきし）

佐伯市に多く賦存する林地残材を収集し、チップ、ペレット等に変換したのち、ボイラ燃料として利活用する。また、家畜排せつ物、生ごみ、し尿汚泥、食品加工残さ、廃食用油等の廃棄物系のバイオマスについては、堆肥、バイオガス、液肥及びバイオディーゼル燃料に変換し利活用する。これらのバイオマスの収集・変換・利用を円滑に運用するために、「佐伯バイオコントラクター（仮称）」の設立を図る。

#### 宮崎県えびの市（えびのし）

自然環境に配慮しながら地域産業の振興や地域活動に役立てるすてきなまちを形成するために、ひとの環づくりを重視しながら地域バイオマス資源の利活用を展開する。具体的には、基幹産業である農畜産業における耕畜連携の維持・強化、事業系食品残渣の飼料化、木質バイオマスの利活用などの取組みを進めていく。